

十番、勝常(しようじょう)

「いくたびも 歩みを 運ぶ
勝常寺 生まれ 会津の 中のみ仏」



現存する寺院では、会津一の寺院。文化財が多数保管されています。駐車は、離れた村営駐車場へ。

国宝、重要文化財多数
本尊は国宝。堂と仏像は国重要文化財
平安初期の薬師三尊が本尊です。平安
初期の仏像十二体が国宝・重要文化財で
す。本堂の地に講堂、仁王門地に金堂が
あり、その南に大門、三重塔が東西に
あったという。会津五薬師の中央薬師で
す。戦乱の兵火にも会わず残された寺で
す。一時荒廃した時に、強盗により文書
などが失われたとされています。

真言宗 瑠璃光山 勝常寺 住職住
河沼郡湯川村勝常字代舞一七六四
本尊 十一面観世音
駐車場 あり
トイレ あり

十一番、東原(つかはら)

「昔より 誰が建ててそめし
古敷きの 久しかるべき 東の原かな」



堂前に駐車。集落内道路狭し。「東の原かな」は「塚の原かな」と江戸時代は呼ばれていた。

もとは塚原と書きましたが、同名が
喜多方にあるため古くに書かれた東原
に戻しました。阿賀川(大川)の西側に
位置しています。文亀(ぶんき)二年
(一五〇二)には、僧の源順がいたとい
う。明暦元年(一六五五)には、日光の
妙道院の門徒となったという。像は、
一尺八寸の像で、寺の本尊は、地藏菩
薩で、観音堂には、一尺八寸の馬頭観
音座像が安置されています。

天台宗 瀧古山 満蔵寺
河沼郡会津坂下町東原字東一五一六
本尊 馬頭観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

十二番、田村山

「千早ふる 神も まことの
住の江の 重ねがさねの 森のしめ縄」



参道に駐車。集落内道路狭し。「神ぞまことの」は「神もまことの」、「住吉」は「住江」、「杜の」は「森の」が正しい。

もとは、会津若松市北会津町の下荒井
にあつて蓮華寺六坊の一つ養泉院でした。
天正十七年(一五八九)伊達政宗の進攻に
より焼失し、宥覚という僧が現在地に移
転したという。現在の堂は、住吉神社の
北にあり、明治三十六年に建てられたも
のです。堂の南には「産(うば)清水」と
いう湧水があります。神社南の畑内には
上杉景勝が飲んだという景勝清水があり
ました。

真言宗 福聚山 養泉院 宝田寺
会津若松市北会津町和合字堂ノ下甲一四七
本尊 聖観世音 集落管理
駐車場 なし、路駐
トイレ なし

